

安全データシート（SDS）

1. 製品及び会社情報

|              |                                                                                |
|--------------|--------------------------------------------------------------------------------|
| 化学品の名称       | カモンビービーアロマ                                                                     |
| 供給者の会社名称     | 株式会社ファイトクローム                                                                   |
| 担当部署         |                                                                                |
| 住所           | 〒162-0845 東京都新宿区市谷本村町 2 番 11 号                                                 |
| 電話番号         | 03-4316-4920                                                                   |
| 供給者のファクシミリ番号 | 03-4316-4921                                                                   |
| 電子メールアドレス    |                                                                                |
| 緊急連絡電話番号     | 03-4316-4920                                                                   |
| 用途           | 農業用途。<br>※本製品は原液がブリスター容器に封入され、容器表面の膜を通じて揮発成分を放出する構造であり、通常の使用条件で原液に直接接触することはない。 |

2. 危険有害性の要約（原液）

|                                   |                  |
|-----------------------------------|------------------|
| 化学品の GHS 分類（JIS Z 7252:2019 に基づく） |                  |
| 物理化学的危険性                          | 区分に該当しない又は分類できない |
| 健康に対する有害性                         |                  |
| 皮膚腐食性／刺激性                         | 区分 2             |
| 眼に対する重篤な損傷<br>／眼刺激性               | 区分 1             |
| 皮膚感作性                             | 区分 1             |
| 環境に対する有害性                         | 区分に該当しない又は分類できない |
| GHS ラベル要素                         |                  |
| 絵表示                               |                  |



|         |                                                                                                  |
|---------|--------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 注意喚起語   | 危険                                                                                               |
| 危険有害性情報 | H315：皮膚に刺激を引き起こす。<br>H317：アレルギー性皮膚反応を引き起こすおそれがある。<br>H318：重篤な眼の損傷を引き起こす。                         |
| 注意書き    | P102：子供の手の届かない場所に保管すること。<br>P280：保護手袋／保護眼鏡／保護面を着用すること。<br>P305+P351+P338：目に入った場合は、数分間注意深く水で洗うこと。 |

GHS 分類に関係しない又は GHS で扱わない他の危険有害性  
情報なし

重要な徴候及び想定される非常事態の概要  
アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ

3. 組成、成分情報

化学物質・混合物の区別  
混合物

組成、成分情報（濃度は全て中央値で記載）

| 化学名又は一般名 | CAS 番号    | 濃度又は濃度範囲（wt%） |
|----------|-----------|---------------|
| ゲラニオール   | 106-24-1  | 45            |
| シトラール    | 5392-40-5 | 20            |
| E-アネトール  | 4180-23-8 | 5             |
| リナロール    | 78-70-6   | 5             |
| 界面活性剤他   | —         | 25            |

※「界面活性剤他」は、GHS に基づく分類で危険有害性を示さない物質で構成。  
※全成分の合計が 100%になるように記載。

4. 応急措置

応急措置

- 吸入した場合
- 新鮮な空気のところへ移動し、安静にする。  
症状があれば医師の診察を受けること。
- 皮膚に付着した場合
- 水と石けんで洗浄すること。  
発疹等があれば医師に相談すること。
- 眼に入った場合
- 多量の水で 15 分以上洗浄し、直ちに医師の診察を受けること。
- 飲み込んだ場合
- 無理に吐かせず、口をすすぎ、医師の診察を受けること。

急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状  
情報なし

応急措置をする者の保護に必要な注意事項

- 安全靴、作業服、手袋、化学防護眼鏡を着用すること。
- ニトリルゴム製の手袋推奨。
- 喫煙、飲食、トイレ使用前には必ず手を洗うこと。
- 汚染された衣服や保護具は、再使用前に洗浄すること。

医師に対する特別な注意事項  
情報なし

5. 火災時の措置

適切な消火剤

- 水噴霧、砂、粉末消火剤、二酸化炭素、泡沫消火剤等

特有の消火方法

燃焼により有害なガスを生成する可能性あり。

消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置

燃焼または分解時に有毒ガスを発生する可能性あり。消防士は、蒸気または燃焼・分解生成物への曝露の危険がある場合、自給式呼吸装置と適切な保護具を着用すること。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

関係者以外の立ち入りを禁止すること。  
作業者は適切な保護具（「8.ばく露防止及び保護措置」の項を参照）を着用し、眼、皮膚への接触や吸入を避けること。  
作業の際、吸入や皮膚に触れない様、適切な保護具を着用し、換気を良くして処理すること。

環境に対する注意事項

周辺環境に影響がある可能性があるため、製品の環境中への流出を避けること。

封じ込め及び浄化の方法及び機材

不活性吸収材で吸収し、密閉容器に回収し、廃棄すること。  
取扱いや保管場所の近傍での飲食の禁止。  
すべての発火源を速やかに取除くこと（近傍での喫煙、火花や火炎の禁止）。

二次災害の防止策

排水溝、下水溝、地下室あるいは閉鎖場所への流入を防ぐこと。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

|          |                                                                                                                                                       |
|----------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 技術的対策    | 本製品はブリスター容器内に封入されており、通常の使用環境下では原液に直接触れることはないが、容器の破損や不適切な取り扱いにより原液が漏出する可能性があるため、皮膚接触を避け、適切な個人用保護具を着用すること。<br>取扱いは、換気のよいところで行うこと。<br>全体換気を適正に行うことが望ましい。 |
| 安全取扱注意事項 | 取扱い後はよく手を洗うこと。<br>この製品を使用する時に、飲食又は喫煙しないこと。<br>ばく露防止の為、適切な保護具を着用して作業を行うこと。<br>皮膚への接触を避けること。                                                            |
| 接触回避     | 「10.安定性及び反応性」を参照。                                                                                                                                     |
| 衛生対策     | 取扱い後はよく手を洗うこと。<br>取扱い場所の近傍では飲食、喫煙の禁止。<br>汚染された衣類を再使用する場合には洗濯すること。                                                                                     |

保管

|         |                                                                     |
|---------|---------------------------------------------------------------------|
| 安全な保管条件 | 直射日光を避け、通気性の良い冷暗所で保管すること。<br>食品から離して保管すること。<br>熱源または着火源から離して保管すること。 |
|---------|---------------------------------------------------------------------|

8. ばく露防止及び保護装置

|                     |                                                                                   |
|---------------------|-----------------------------------------------------------------------------------|
| 管理濃度                | 設定されていない。                                                                         |
| 許容濃度（ばく露限界値、生物学的指標） |                                                                                   |
| 日本産業衛生学会（2024）      | 設定なし                                                                              |
| 保護具                 |                                                                                   |
| 呼吸用保護具              | 必要に応じて保護マスクや呼吸用保護具を着用すること。                                                        |
| 手の保護具               | 通常の使用条件下では本製品の内容物との直接接触は想定されないが、容器の破損や廃棄処理時など、原液に触れる可能性がある場合は、化学物質対応の保護手袋を着用すること。 |
| 眼、顔面の保護具            | 容器破損時に内容物が飛散する恐れがあるため、保護眼鏡またはフェイスシールドの着用を推奨。                                      |
| 皮膚及び身体の保護具          | 保護衣、長袖作業服等を着用すること。                                                                |
| 特別な注意事項             |                                                                                   |
| 情報なし                |                                                                                   |

9. 物理的及び化学的性質

|                       |               |
|-----------------------|---------------|
| 物理状態                  | 液体            |
| 色                     | 乳白色           |
| 臭い                    | 芳香性           |
| 臭いの閾値                 | 情報なし          |
| pH                    | pH：4.5（5%水溶液） |
| 融点/凝固点                | 情報なし          |
| 沸点又は初留点及び沸騰範囲         | 情報なし          |
| 引火点                   | 該当しない         |
| 燃焼性（固体、ガス）            | 情報なし          |
| 爆発下限及び爆発上限界/可燃限界      | 情報なし          |
| 蒸気圧                   | 情報なし          |
| 蒸気密度（空気=1）            | >1            |
| 比重                    | 0.91          |
| 水への溶解性                | 混和性あり         |
| n-オクタノール／水分配係数（log 値） | 情報なし（混合製剤のため） |
| 自然発火温度                | 情報なし          |
| 分解温度                  | 情報なし          |
| 動粘性率                  | 情報なし          |
| その他のデータ               | 該当情報なし        |

10. 安定性及び反応性

|        |                         |
|--------|-------------------------|
| 反応性    | 通常の条件下では安定である。          |
| 化学的安定性 | 通常の取扱条件および保管条件の下で安定である。 |

|            |                             |
|------------|-----------------------------|
| 危険有害反応可能性  | 通常の使用条件において危険な反応は予想されない。    |
| 避けるべき条件    | 高温、着火源への接近。                 |
| 混触危険物質     | 通常 of 取扱い条件では安定である。強酸化剤は不可。 |
| 危険有害な分解生成物 | 自己分解により有毒ガスを発生することはない。      |

1 1．有害性情報

製品の有害性情報

製品ラベルに従って製品を適切に取り扱った場合、健康への有害な影響は予想されない。製品の誤使用や、過度の暴露が発生した場合に生じる、可能性がある症状または影響は次のとおり。

成分の有害性情報

|                 |                                                         |
|-----------------|---------------------------------------------------------|
| 急性毒性（経口）        | 急性毒性区分外。<br>主成分の LD <sub>50</sub> （ラット）は > 2,000 mg/kg。 |
| 急性毒性（経皮）        | 急性毒性区分外。<br>LD <sub>50</sub> > 2,000 mg/kg。             |
| 吸入              | 区分外。<br>LC <sub>50</sub> （蒸気） > 20 mg/L（推定値）。           |
| 皮膚腐食性／刺激性       | 区分 2。<br>皮膚に対する中等度の刺激性がある。皮膚接触により紅斑、かゆみが生じる場合がある。       |
| 眼に対する重篤な損傷／眼刺激性 | 区分 1。<br>目に入った場合、角膜損傷等の重篤な障害を引き起こす可能性がある。               |
| 呼吸器感作性          | データなし。<br>区分分類されていない。                                   |
| 皮膚感作性           | 区分 1。<br>ゲラニオール、シトラールなどにより、アレルギー性接触皮膚炎を引き起こす可能性がある。     |
| 生殖細胞変異原性        | 区分外。<br>該当成分に関して変異原性の報告なし。                              |
| 発がん性            | 区分外。<br>IARC, ACGIH, NTP において分類されていない。                  |
| 生殖毒性            | データなし。<br>区分分類されていない。                                   |
| 特定標的臓器毒性（単回暴露）  | 区分外。<br>通常の使用条件で該当なし。                                   |
| 特定標的臓器毒性（反復暴露）  | 区分外。<br>該当成分なし。                                         |
| 吸引性呼吸器有害性       | データなし。<br>吸引性に関する有害性は報告されていない。                          |

1 2．環境影響情報

製品の環境影響情報

|         |                                          |
|---------|------------------------------------------|
| 生態毒性    | 急性 LC <sub>50</sub> > 100 mg/L（成分による推定値） |
| 残留性・分解性 | 情報なし                                     |

|           |       |
|-----------|-------|
| 生体蓄積性     | 情報なし  |
| 土壌中の移動性   | 情報なし  |
| オゾン層への有害性 | 該当しない |

成分の環境影響情報

ゲラニオール

|           |                                             |
|-----------|---------------------------------------------|
| 水生環境急性有害性 | 魚類（ブラウントラウト）96 時間 LC <sub>50</sub> =2.6mg/L |
| 水生環境慢性有害性 | 情報なし                                        |
| 残留性・分解性   | BOD: 36.70%                                 |
| 生体蓄積性     | LogKow=3.47                                 |
| 土壌中の移動性   | 情報なし                                        |
| オゾン層への有害性 | 該当しない                                       |

1 3．廃棄上の注意

残余廃棄物

廃棄においては、関連法規制ならびに地方自治体の基準に従うこと。  
都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、または地方公共団体が廃棄物処理を行っている場合はそこに委託して処理すること。強酸等に接触させないこと。

汚染容器及び包装

容器は洗浄してリサイクルするか、関連法規制ならびに地方自治体の基準に従って適切な処分を行うこと。

1 4．輸送上の注意

国際規制

陸上輸送（ADR/RID の規定に従う）

|       |       |
|-------|-------|
| 国連番号  | 該当しない |
| 品名    | 該当しない |
| 国連分類  | 該当しない |
| 副次危険性 | 該当しない |
| 容器等級  | 該当しない |

海上輸送（IMO の規定に従う）

|                                 |       |
|---------------------------------|-------|
| 国連番号                            | 該当しない |
| 品名                              | 該当しない |
| 国連分類                            | 該当しない |
| 副次危険性                           | 該当しない |
| 容器等級                            | 該当しない |
| 海洋汚染物質                          | 該当しない |
| MAR POL 73/78 附属書 II 及び IBC コード | 該当しない |
| ドによるばら積み輸送される液体物質               |       |

航空輸送（ICAO/IATA の規定に従う）

|       |       |
|-------|-------|
| 国連番号  | 該当しない |
| 品名    | 該当しない |
| 国連分類  | 該当しない |
| 副次危険性 | 該当しない |
| 容器等級  | 該当しない |

国内規制がある場合の規制情報

|        |       |
|--------|-------|
| 陸上規制情報 | 該当しない |
| 海上規制情報 | 該当しない |
| 海洋汚染物質 | 該当しない |
| 航空規制情報 | 該当しない |

緊急時応急措置指針（容器イエローカード）番号

該当しない

輸送又は輸送手段に関する特別の安全対策

輸送に際しては、容器の破損、腐食、漏れのないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行うこと。

容器を転倒、落下等粗暴な取扱いをしない。

1 5．適用法令

|           |                        |
|-----------|------------------------|
| 化審法       | 対象成分は既存化学物質（化学物質審査規制法） |
| 労働安全衛生法   | 該当項目なし（通知対象物質に該当しない）   |
| 毒物及び劇物取締法 | 非該当                    |
| 消防法       | 非該当                    |

1 6．その他の情報

参考文献

株式会社ファイトクローム提供資料

NITE GHS 分類結果一覧（2024）

日本産業衛生学会（2024） 許容濃度等の勧告

ACGIH, American Conference of Governmental Industrial Hygienists (2025) TLVs and BEIs.

【注意】

本安全データシートは、JIS Z 7252:2019 および JIS Z 7253:2019 に準拠して作成されています。  
最新の情報に基づいて改訂される可能性がありますので、定期的に確認してください。

本製品は閉鎖型容器（ブリスター容器）に封入されており、使用者の通常の作業環境では内容物との  
直接接触は想定されませんが、安全データシートは、原液の暴露を想定して作成しています。